

第2学年だより

Smile



第12号 R7.10.23(木) 文責：渡邊真弓

エントリーシートの確認ありがとうございました

秋休み中の確認ありがとうございました。生徒が、自分自身を振り返り『自己アピール』を自分のよさに焦点をあてて書けたことは素晴らしいことです。次年度から、県立高校入試の特色選抜ではプレゼンテーションが課される学校が多くなります。自分のよさや、頑張りたいことをアピールする機会を、今後もつくっていきたいと思います。

ふくむ共育プログラム授業の様子

10月20日(月)に県共同募金会の池田様を講師として「赤い羽根共同募金」についてお話をいただきました。赤い羽根共同募金についてだけでなく、大田原市内での使い道などについても教えていただきました。



司会は永森さん、謝辞は小野崎さん。謝辞の中で「赤い羽根募金は、支える人を支える募金だとわかりました。今週末の街頭募金活動に生かしていきたいです。」と堂々と伝えることができました。

〈生徒の感想〉

赤い羽根で助けられるのは周りの人だけではなく、自分も助けられることを知りました。また、困ったときは「お互いさま」という考えのもと自分でも募金をしていきたいと思いました。(1組 渡邊 佑太さん)

赤い羽根共同募金の大切さについて学びました。福祉委員会でも募金活動を行っているけれど、あまり集めることができていないので、これからは募金活動に協力しようと思いました。(2組 大木 夕空さん)

私が印象に残った言葉は「支える人を支える」です。個人1人が頑張るのではなく、みんなでみんなを助ける気持ちが大切ということがわかりました。(2組 福田 巴香さん)

